

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	中小企業課長 野坂 一弥	電話番号	0852-22-5881
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	環境対策を行う企業に対する間接融資事務		
目的	(1) 対象	県内の企業	
	(2) 意図	企業の事業活動に伴う環境への負荷を低減する施設改善に必要な良質の資金を調達できる	
事業概要	環境への負荷を低減する施設改善を行う県内企業に長期・低利の資金を調達してもらうため、金融機関に対して、貸付原資の一部を無利子で預託する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			環境対策が充実できた企業数	目標値		6.00	6.00	3.00	
式・定義	融資実績（件数）	実績値	0.00	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%	
		達成率		0.00	0.00			%	
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
	目標値		0.00	0.00					
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00					
	達成率		0.00	0.00			%		
	達成率		0.00	0.00			%		

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費 (b) (千円)	46,347	143,983
うち一般財源 (千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 平成26年度は、制度利用の問い合わせが5件あった。
- 平成27年度は、1件16,000千円の融資実績が現在ある。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 制度利用の問い合わせ件数は増えており、環境負荷低減への取り組みの啓発効果があった。
- 平成27年4月から、PCB廃棄物の処理を促進するため、処理等に要する経費を融資対象に追加し、環境生活部と協力してPRしている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 制度について問い合わせはあるが、融資利用につながっていない。

②困っている状況が発生している「原因」

- 直接的な利益の源泉となりにくい環境対策の投資は抑制気味である。

③原因を解消するための「課題」

- 環境対策の投資を促進するよう、融資利率の見直しや、新たな融資メニューの創設等が必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 省エネ対策への取り組みや環境対応を強みの1つとする企業も考えられ、引き続きPRに努める。
- より利用しやすい制度となるよう、融資利率の見直しや、新たな融資メニューの創設等、制度改正を検討する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）